

2024年12月27日(金) 海上釣堀 トリトン
中潮:旧11/27 満潮04:01(139cm) 干潮09:06(100cm) 満潮14:38(151cm) 的矢港湾
マダイ 私 9尾 ツレ 11尾

4時45分 出発 4時50分 集合場所に到着
5時00分 集合・出発 (高速・コンビニ)
7時00分 トリトン事務所前着
8時00分 釣り開始
9時06分 干潮 100cm 的矢港湾
14時00分 終了
14時38分 満潮 151cm 的矢港湾
15時00分 帰路



【料金】 貸し切り 4人 ¥66,000(税込み)

餌は友人に依頼した。燃料・高速・餌等込みで、一人¥20,000となった。

【仕掛け】

浮き釣り

浮き止め糸2個、シモリ玉、浮きをつなぐスナップサルカン、浮き止め糸、クッション錘、ハリス、鉤

浮き:3号 クッション錘:2.5号 2.5mm 15cm

ハリス 真鯛用 フロロ4号 1m 青物用 フロロ6号1m

鉤 伊勢尼12号(伊勢尼11号を持参の予定だった)

※本来、浮き3号にクッション錘2.5号を使用する時には、鉤上20cmくらいのところにガン玉(錘0.3、0.5、0.8号)をつける。錘の重さは、餌の重さにより調整する。今回はつけなかった。

脈釣り

リールにはPEライン1.5号にリーダー4号1mが結んである。その先にスナップサルカンがついている。ここに、ハリスを結んだ。(ハリスはフロロ4号1mで、鉤は伊勢尼12号)

本来ならフロロ4号通しがよい。

※鉤上20cmくらいのところにガン玉(錘0.3、0.5、0.8号)をつける。

※錘は使用する餌により位置と重さを調整する。

【竿・リール】

浮き釣り

竿 ①海上釣堀 赤物RX 5号3m 自重251g (今回、購入した)

②メタルジグロッド スピニングリール用 2.1m

→ 2.1mの竿では短いかと思ったが、ツレは短い方が扱いやすく、軽くてよいと言っていた。

リール 持っていたスピニングリールの上からPEライン3号を12m巻いた。

トリトンの水深が3~4mで、一般的には深いところで14mくらいとか。

→ ツレが使ったリールは古くて、糸の巻き取りがスムーズではない。購入するか要検討。

脈釣り

竿:ジギングロッド

リール:PEライン1.5号にリーダー4号1mが結んである。その先にスナップサルカンがついている。

ここに、ハリスを結んだ。(ハリスはフロロ4号1mで、鉤は伊勢尼12号)

本来ならフロロ4号通しがよい。

【持ち物】

棚取り錘

棚取り錘で棚を測っても根掛かりが頻繁にあることから、鉤にハリスを結んだものを用意しておきたい。

真鯛用 伊勢尼10号 ハリス4号1m スナップサルカン 一人3セット用意したい。

青物用 伊勢尼12号 ハリス6号1m スナップサルカン 一人3セット用意したい。

【様子】

- 以前に友人から誘われていたので連絡を取り、行くことにした。
- 天気は晴れ、風が吹いた。かなり強く吹いたときもあれば、無風になったときもあった。
- はじめは、自分もツレも浮き釣りから始めた。
- 前日に入れた青物が釣られていないことから、ツレは鯖の切り身でスタートした。しかし、釣れなかったのを黄色の団子に変えた。ヒット、ヒット。2〜3尾ゲット。更に調子よく釣っていく。
- すぐにワラサの放流があった。
- この間、自分はまだ仕掛けの準備中だった。
- 朝一は黄色の団子と決めていた。しかし、釣れない。
- 自分が1投目を入れた頃にはモーニングタイムは終わっていたようだ。
- 黄色の団子で釣れないので、黄色のエビ(切り身)をつけた。これにヒット。
- 自分が3枚だったとき、ツレは7枚くらい釣っていた。
- 終了1時間くらい前、赤い四角の団子でツレが釣ったというのでこれを試した。ヒット、また、ヒット。当たりが止まり黄色のエビに変えたらヒット。調子よく釣れてくる。
- 終了に近づき、釣った魚の回収があった。このとき当たりがあり、合わせたところ、鉤が外れ、仕掛けが大きく上に飛んで隣の屋根にあたった。浮きが壊れてしまった。
- 浮きが壊れたので脈釣りに変えた。黄色のエビにあたっていること、なんとなく、いけすの角に鯛がいると思い、角に仕掛けを落とした。仕掛けがなじんだ頃、竿先がぐーっと引き込まれた。鯛だった。
- その後、脈釣りを場所や棚を変えながら試してみたがだめだった。
- 「脈釣りでは、3段階に分け少しずつ竿先を上げた後、ゆっくり竿先を下げていく。下げきったところで待つ。このとき当たりがあることが多い。」と教わった。試したが、当たらなかった。
- 餌をいろいろ準備してもらった。団子、エビの切り身、ウグイ、シラサエビ、ゴカイ、キビナゴ、…よく釣れた餌は、黄色い四角の団子、赤い四角の団子、特製だれにつけ込まれ黄色に色づけされたエビの切り身

【ネットでの事前研究】

初めての海上釣堀だったので、ネットで研究しておいた。

①朝一番は前日の釣り残りがいて、活性が上がっている。黄色の団子がよい。

②当たりが遠のいたら餌を変える。

③棚が10cm違うだけでも釣果が変わる。

→ ツレは当たりがないと感じたら、餌を変えたり、棚を変えたりしたとのこと。

棚を変えるときには、5〜10cmだったとのこと。

→ 終了1時間前、ツレが棚を変えて釣っていたと聞いて、自分も棚を変えようと考えた。根掛かりが心配だったが、10cm仕掛けを下げた。加えて、赤い四角い団子でツレが釣ったということから、この団子を使うことにした。これで当たるようになった。赤い団子で釣れなくなったので、棚はそのままにして黄色のエビの切り身に変えた。また、当たるようになった。10cmの棚の変化で当たりが変わることを実感した。

【根掛かりの原因について考える】

棚取り錘で棚を正確に測っても根掛かりが頻繁にある。考えられる原因は次の通り。

①ネットの下から魚が餌を食い、ネットの外に逃げていく。

当たりがあって合わせると根掛かりで上がってこない。それでも魚が引くので竿先が動く。

②底から離れているのにネットにかかることがある。潮の動きでネットが揺れるのであろう。

【仕掛けについて考えるークッションゴムの有無からー】

浮き釣りにはクッションゴムがあるが、脈釣りにはない。鯛狙いであろうと青物狙いであろうと関係はない。では、なぜ浮き釣りにはクッションゴムがあるのだろうか。それは合わせ切れを防ぐためだと考えられる。脈釣りではフロロ4号通しで青物も狙う。これにクッションゴムがないのは、脈釣りでは合わせ切れがおきにくいからであろう。

私は、エアトラウト(管理釣り場)では、PE0.2号にリーダーとしてフロロ0.8号を巻いている。この仕様で、2023年1月30日すそのフィッシングパークで50cmくらいのサクラマス釣った。細いラインでもドラッグ調整が適切であれば、大きなマスも上がってくるということだ。フロロ0.8号のリーダーを交換するときにはどれくらいの力で切れるか実験をしたことがある。糸をピンと張った状態から糸を引く力を強くしてもなかなか切れない。しかし、糸が緩んだ状態で力強く糸を引くとPEラインとフロロラインの結び目で簡単に切れてしまう。この実験はリーダーを変えるごとにやってきたが、いつも同じ結果である。これと同様のことが、海上釣堀の仕掛けで起こるのであろう。浮き釣りでは、浮きによって糸が緩んだ状態から強い力で引っ張って合わせを入れる。緩んだ状態から強い力で引っ張ると糸が切れやすいことから、クッションゴムを入れる必要がある。一方、脈釣りでは、糸が引っ張られた状態から合わせを入れる。ここではクッションゴムがなくても切れないのである。

また、青物にも歯はあるものの、それほど鋭い物ではない。このように考えてみると、青物狙いであったもハリスを太くする必要がないのではないだろうか。浮き釣りの場合、浮きが沈んだ瞬間、そのまま合わせを入れるのではなく、ラインを巻きながら合わせるのがよい。当たりを待つときには余分の糸ふけを取っておく、前当たりで浮きと竿先の距離を縮めておく、といったことが合わせ切れを防ぐことになるだろう。

そうは言うものの、青物の放流直後は安心のために、ハリスを太くしておきたいと思う。青物の放流直後以外は、青物を狙うための餌をつけたとしても、ハリスを太くする必要はないと思う。

2020年1月13日 伊勢湾ジギングで喧嘩ブリ(74cm4.2キロ)を釣った。このとき使用したベイトリールには、PE1.5号にリーダーとしてフロロ5号が巻いてあった。なお、スピニングリールにも同様にPE1.5号が巻いてある。海上釣堀でもPE1.5号を巻いておけば十分であろう。PEラインとハリスの号数の関係から考えてみると、PE1.5号、フロロ5号のハリスでブリが捕れる。しかし、根掛かりしたときはどうだろうか。根掛かりではラインを切るために強く引っ張る。PEラインの強度よりハリスの強度の方が強いと高切れとなってしまう。PEラインの強さはフロロの4倍とすると、PE1.5号とフロロ6号が同等と考えられる。したがって、根掛かり対策を考えるならば、PE1.5号の場合は、フロロ6号よりフロロ5号の方が安心である。

このように考えてみると、鯛であれ青物であれ、PE1.5号にハリス4号で対応できる。根掛かりしたとしても、高切れすることなく、ハリスが切れるであろう。青物放流時にはハリス6号にしておく方が安心かもしれない。

【次回に向けて】

○次回も浮き3号にクッション錘2.5号を使用する。そのためガン玉(錘0.3、0.5、0.8号)を準備する。

○釣・ハリスの準備

真鯛用 伊勢尼10号 ハリス4号1m スナップサルカン 一人3セット用意する。

青物用 伊勢尼12号 ハリス6号1m スナップサルカン 一人3セット用意する。

バラの釣(伊勢尼10号、12号) チヌ針3～5号も持って行くか。

ハリス4号・6号

<ロッドについて>

○浮き釣り用ロッド 1台目 海上釣堀用 2台目 ジギングロッド(スピニング用)

○脈釣り用ロッド ジギングロッドを使う

<リールについて>

○浮き釣り用リール(スピニングリール)

1台目 PE1.5号が巻いてある。このまま使う。

2台目 要検討

※イカメタル用「レガリスLT 4000D-CXH PEライン0.8号 200m」を活用するか、新しく購入するか。

キス釣り用と共用するリールを購入し、1.5号を巻くか。

○脈釣り用リール(ベイトリール)

フロロ4号通しがよい。しかし、ベイトリールにはPE1.5号が巻いてある。

PEの先にサルカンをつけて、サルカンにハリスをつけるか。

PEにリーダーを兼ねたフロロ4号を3～4mを結び、そこに鉤を結ぶか。